

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	保育実践演習				
担当者氏名	坂口 静子、小林 美千子				
授業方法	講義	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・春期

《授業の概要》

学内で学んだ保育の知識や技術を生かして子どもと直接かわり、保育の実践を体験的に学習する過程が保育実習である。保育現場では、日々子どもたちは様々な遊び(玩具・遊具、伝承遊び、絵本、紙芝居、パネルシアター、人形劇等)を体験している。本科目では、学生自身が実際に遊びをつくり体験することによって、それぞれの特徴を理解し、保育における教育的意義を見出し、その価値を認識することを目指す。

《授業の到達目標》

- 保育現場における子どもの実態を知り、子どもを取り巻く現状を把握する。
- 遊びの面白さを実感し遊びの中で育つものについて考え、実践することでその意義を理解する。
- プレゼンテーションやディスカッションをすることによって、保育者としての必要な表現力やコミュニケーション力を身につける。

《成績評価の方法》

定期試験は実施しない。
授業における貢献度、作品によって評価する。
平常点(受講態度等)30% 遊具制作・発表等70%

《テキスト》

使用しない。

《参考図書》

特に指定しない。
適宜資料を配布する。
注意事項：はさみ、のり、サインペン等を持って来るよう指示することがある。
造形材料の収集・購入が必要となる場合がある。

《授業時間外学習》

作品作成は授業外で完成させることもある。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	オリエンテーション	子どもを取り巻く環境の変化と子どもの現状について 保育実践力を育成するために
2	身近な廃材遊び	廃材(新聞紙等)を使った感覚遊びからおもちゃ作りへ
3	紙芝居の仕組み	紙芝居作り 破った紙面から作る創作話
4	紙芝居の演じ方	紙芝居作品 グループ発表
5	子ども理解と保育の展開	手遊びの場面の保育指導案 指導案作成の基本的な考え方
6	子ども理解と保育の展開	絵本読み聞かせ場面の保育指導案 保育者の援助・配慮・留意点のとらえ方
7	子ども理解と保育の展開	廃材(新聞紙等)を使ったおもちゃ作り指導案の作成 学生同士の共有
8	行事の意味と由来	社会行事、伝承行事、成長を祝う行事、安全健康に関する行事等の意義
9	ペープサートの製作	ペープサートを使ってのストーリーの展開
10	ペープサートの演じ方	ペープサートの特徴とその活用法
11	絵本の役割と魅力	より楽しい保育を行うための方法
12	様々な児童文化財	様々な児童文化財の特徴と保育活動方法 (紙芝居・エプロンシアター・パネルシアター等)
13	遊びと玩具の関係	年齢にふさわしい玩具・身近な素材を使っての玩具作り
14	自己紹介の工夫	人前でも自信をもって自分を表現する方法
15	まとめ	新しい保育内容の創造と保育者の役割